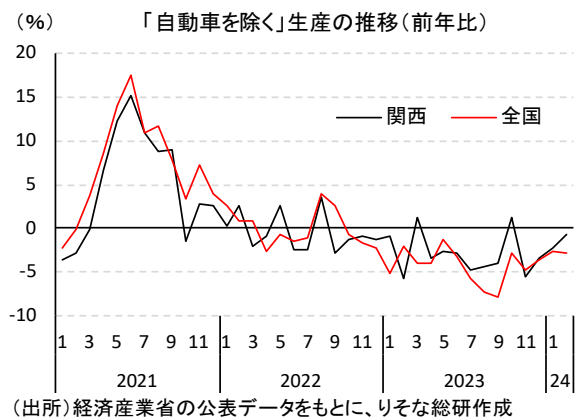
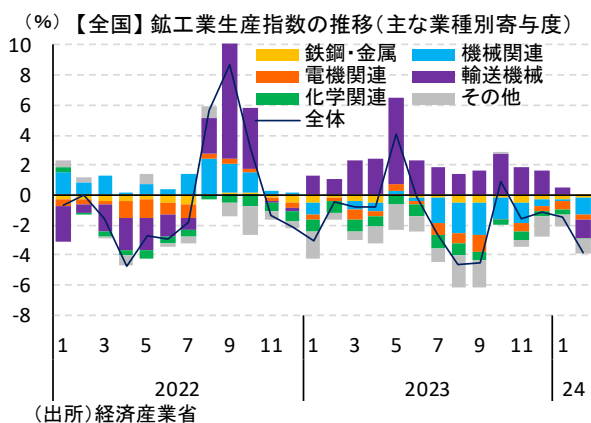
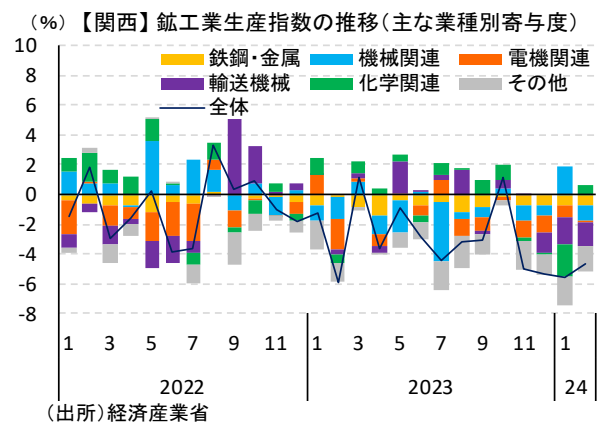
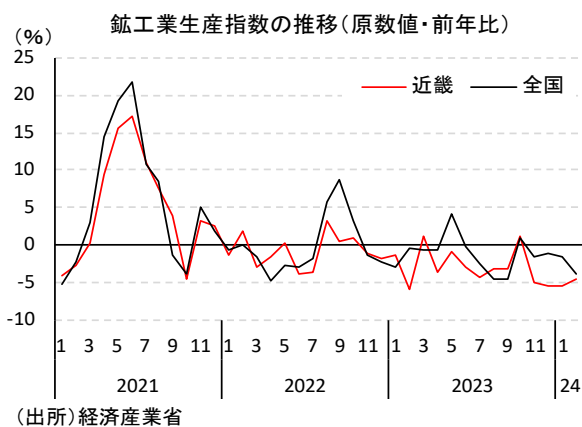


関西の景気トピックス【鉱工業指数（24年2月）】

- 24年2月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で4.6%減と、4か月連続の減少となった。業種別には前月と同じく、輸送機械を中心に幅広い業種で減少が続いている。輸送機械ではダイハツの生産停止による減少が続き、全体の押し下げにつながっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様に、企業が減産を進め、積み上がった在庫を減らそうとする「在庫調整局面」となっている。主に国内外の需要減少を背景にした動きとみられ、今後の推移への警戒が必要となっている。
- 全国と関西の動きを比較すると、これまで全国の生産を押し上げてきた自動車関連が2月は減少に転じている。自動車の輸出は増加が続いているだけに、一過性の動きである可能性は否定できない。一方、自動車を除く生産動向は、全国と関西でほぼ同様のトレンドとなっており、国内外の需要減を受けて前年割れが続いている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。